

取扱説明書

FlexScan® EV2430

カラー液晶モニター

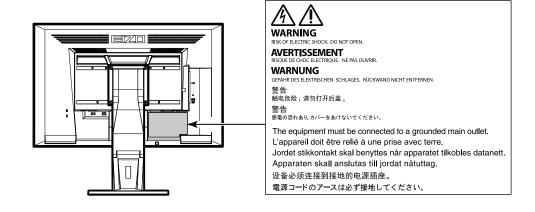
重要

で使用前には必ずこの取扱説明書および使用上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

- ・モニターの設置 / 接続については、セットアップガイドを参照してください。
- ・取扱説明書を含む最新の製品情報は、当社のWebサイトから確認できます。

http://www.eizo.co.jp

警告表示位置



製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

- 1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
- 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- 4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任 も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

モニターについて

この製品は、文書作成やマルチメディアコンテンツの閲覧など一般的な用途に適しています(1日あたり約12時間の使用を想定)。

次のような極めて高い信頼性 / 安全性が必要とされる用途で使用する場合は、安全性を確保する措置を施した上でで使用ください。

- ・ 運送機器(船舶、航空機、列車、自動車など)
- ・防災防犯装置など各種安全装置
- 生命に直接関わる装置(生命維持装置や手術室用機器など医療用装置)
- ・原子力制御機器(原子力制御システム、原子力施設の安全保護系システムなど)
- 幹線通信機器 (輸送システムの運転制御システム、航空管制制御システムなど)

この製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社別売オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

ラッカー系の塗料を使用した机にこの製品を置くと、スタンドの底面に使用しているゴムの成分により、色 が付着する場合があります。ご使用前にご確認ください。

モニターの表示が安定するまでに、約30分(当社測定条件による)かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。

長時間使用することによる輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げて使用されることをお勧めします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。表示する画像によっては、短い時間でも残像が見えることがあります。その場合、画像を変更したり、数時間電源を切った状態にすると、解消されることがあります。

表示状態を長時間続けると、表示面に黒いシミやムラ、焼き付きが発生する場合がありますのでご注意ください。モニターを長くお使いいただくため、定期的にモニターの電源をオフにすることをお勧めします。

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします (「クリーニングの仕方」(P.4)参照)。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、有効ドット数の割合は99.9994%以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。長時間連続使用など、で使用状態によっては、 バックライトの寿命が早まり、交換が必要となる場合があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点 灯しなくなったときには、別紙「お客様で相談窓口ので案内」に記載の窓口にお問い合わせください。

液晶パネル面や液晶パネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、液晶パネルの破損などにつながる恐れがあります。(液晶パネルを押した跡が残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。)

液晶パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります(結露)。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングの仕方

キャビネットや液晶パネル面の汚れは、やわらかい布に少量の水をしめらせて、やさしくふき取ってください。

注意点

- ・アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットや液晶パネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
- ・シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナは、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

参考

・キャビネットや液晶パネル面のクリーニングにはScreenCleaner(別売オプション品)をご利用いただくことをお 勧めします。

モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- ・長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に約10分の休憩を取ってください。

目次

モニター	たついて3
クリー	-ニングの仕方4
モニタ	ィーを快適にご使用いただくために4
目次	5
第1章	はじめに7
1-1.	特長7
1-2.	各部の名称と機能8
	前面8
•	背面9
1-3.	基本操作と機能一覧10
	設定メニューの基本操作方法10
	機能一覧11
第2章	画面を調整する12
2-1.	対応解像度12
	アナログ信号(D-Sub)入力時12
	デジタル信号(DVI-D)入力時12
	デジタル信号(DisplayPort)入力時12
2-2.	解像度を設定する13
	Windows 10の場合 13
	Timedita of it timedita to a supplied in the initial in the
	OS X Mountain Lion(10.8)以降の場合13
	Mac OS X 10.7の場合13
	カラーを調整する14
	表示モード(FineContrast(ファインコ
	ントラスト)モード)を選択する14 詳細な調整をする14
	日本
	ブライトネス(明るさ)を調整する
	コントラストを調整する16
	色温度を調整する16
	ガンマを調整する17
_	色の濃さを調整する17
	色合いを調整する
•	, 12 CHATE / G.IIIIIII 10
2-4.	画面を調整する19
	デジタル信号入力の場合
	アナログ信号入力の場合
2-5.	画面サイズを切り替える23
	画面サイズを切り替える23

		画像の非表示部分の明るさを変える	. 23
第	3章	モニターを設定する	. 24
	3-1.	音量を調整する	24
	3-2.	DisplayPort信号入力時の音源を 切り替える	24
	3-3.	DDC/CI通信の有効/無効を設定する	
	3-4.	操作ボタンをロックする	
	3-5.	設置方向を設定する	
	3-6.	EIZOロゴを表示/非表示にする	
	3-7.	設定メニューの位置を変更する	
	3-8.	表示言語を設定する	
	3-9.	初期設定に戻す	
		カラー調整値をリセットする	
		「EcoView Sense設定」をリセットする	
		すべての設定内容をリセットする	. 27
第	4章	省電力機能について	. 28
	4-1	パワーセーブを設定する	28
	4-1.		
		モニター	. 28
			. 28 . 29
	4-2.	モニター 音声出力	28 29 29
	4-2. 4-3.	モニター 音声出力 電源ランプの表示を設定する	28 29 29 29
	4-2. 4-3.	モニター 音声出力 電源ランプの表示を設定する モニターの自動明るさ調整を設定する	28 29 29 29
	4-2. 4-3.	モニター 音声出力 電源ランプの表示を設定する モニターの自動明るさ調整を設定する Auto EcoView	28 29292929 30
	4-2. 4-3. • 4-4.	モニター 音声出力 電源ランプの表示を設定する モニターの自動明るさ調整を設定する Auto EcoView Optimizer 2	28 29 29 29 30
	4-2. 4-3. • 4-4. 4-5.	モニター 音声出力 電源ランプの表示を設定する モニターの自動明るさ調整を設定する Auto EcoView EcoView Optimizer 2 離席時の省電力モードを設定する	28 29 29 29 30
第	4-2. 4-3. • 4-4. 4-5. 4-6.	モニター 音声出力 電源ランプの表示を設定する モニターの自動明るさ調整を設定する Auto EcoView EcoView Optimizer 2 離席時の省電力モードを設定する 省電力の度合いを表示する	28 29 29 29 30 30
第	4-2. 4-3. 4-4. 4-5. 4-6. 5章	 モニター… 音声出力… 電源ランプの表示を設定する… モニターの自動明るさ調整を設定する… Auto EcoView… EcoView Optimizer 2 離席時の省電力モードを設定する… 省電力の度合いを表示する… モニターの自動電源切断機能を設定する… 	28 29 29 29 30 30 32
第	4-2. 4-3. 4-4. 4-5. 4-6. 5章	 モニター 音声出力 電源ランプの表示を設定する モニターの自動明るさ調整を設定する Auto EcoView EcoView Optimizer 2… 離席時の省電力モードを設定する 省電力の度合いを表示する モニターの自動電源切断機能を設定する こんなときは 画面が表示されない場合… 画面に関する症状(デジタル、アナログ共 	28 29 29 30 30 32 33
第	4-2. 4-3. 4-4. 4-5. 4-6. 5章 5-1. 5-2.	 モニター… 音声出力… 電源ランプの表示を設定する… モニターの自動明るさ調整を設定する… Auto EcoView… EcoView Optimizer 2 離席時の省電力モードを設定する… 省電力の度合いを表示する… モニターの自動電源切断機能を設定する… こんなときは 画面が表示されない場合… 画面に関する症状(デジタル、アナログ共通)… 	28 29 29 30 30 32 33
第	4-2. 4-3. 4-4. 4-5. 4-6. 5章 5-1. 5-2.	 モニター 電源ランプの表示を設定する モニターの自動明るさ調整を設定する Auto EcoView EcoView Optimizer 2 離席時の省電力モードを設定する 省電力の度合いを表示する モニターの自動電源切断機能を設定する こんなときは 画面が表示されない場合 画面に関する症状(デジタル、アナログ共通) 画面に関する症状(デジタルのみ) 	28 29 29 30 32 33 33
第	4-2. 4-3. 4-4. 4-5. 4-6. 5章 5-1. 5-2.	 モニター… 音声出力… 電源ランプの表示を設定する… モニターの自動明るさ調整を設定する… Auto EcoView… EcoView Optimizer 2 離席時の省電力モードを設定する… 省電力の度合いを表示する… モニターの自動電源切断機能を設定する… こんなときは 画面が表示されない場合… 画面に関する症状(デジタル、アナログ共通)… 	28 29 29 30 32 33 33

第6章	ご参考に37
6-1.	オプションアーム取付方法37
6-2.	スタンドベースの取外方法/取付方法38
6-3.	ケーブルホルダーの取付方法/取外方法41
6-4.	複数のコンピュータを接続する43
	入力信号を切り替える43
•	入力信号の切替方法を設定する44
6-5.	USBハブ機能の使用方法44
•	接続方法(USB機能のセットアップ方法) 45
6-6.	モニター情報を表示する45
6-7.	仕様46
	オプション品47
付録	48
商標.	48
ライも	<u> 2</u> ンス48
ENER	GY STAR48
VCCI.	48
そのfl	b規格49
アフター	-サービス 50

第1章 はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. 特長

- 24.1型ワイド画面
- 解像度1920×1200対応
- DisplayPort対応(8bit対応)^{※1}

映像信号と音声信号を、1本のDisplayPortケーブル(オプション)で伝送できます。

- ※1 DisplayPortケーブルを使って音声信号を伝送する場合、ご使用のグラフィックスボードが、音声出力に対応している必要があります(「6-7. 仕様」(P.46)参照)。
- FineContrast(ファインコントラスト)機能を搭載し、表示画像に適した表示モードを選択可能
 - 紙に印刷した際の見え方を再現したPaperモードを搭載しています。Paperモードでは色味の変更と輝度の抑制によって、画面から発生するブルーライトを削減します。

「表示モード(FineContrast(ファインコントラスト)モード)を選択する」(P.14)参照

• 省電力機能

消費電力^{※2}を抑えることで、二酸化炭素排出量の削減につながります。この製品は省電力のための機能を搭載しています。

- 主電源オフ時消費電力0W

主電源スイッチを装備。

モニターを使用しないときは、主電源スイッチを切ることで、確実に電源供給が停止します。

- Auto EcoView(オートエコビュー)機能

モニター正面の外光センサーが周囲の明るさを検知し、自動的に画面の明るさを調整します。

「Auto EcoView」 (P.29) 参照

- EcoView Optimizer 2(エコビューオプティマイザーツー)機能 入力信号の白レベルに応じて自動的に画面の明るさを調整します。入力信号の明るさを維持しながら、消費電力を削減することができます。

「EcoView Optimizer 2」 (P.30) 参照

- EcoView Sense(エコビューセンス)機能

モニター正面のセンサーが人の動きを検知します。人がモニターから離れると、モニターは自動的に省電力モードに移行して画面を非表示にするため、消費電力の低減につながります。モニターの使用環境や使用者の動作量に応じて、感度、省電力モードに移行するまでの時間を設定できます。

「4-4. 離席時の省電力モードを設定する」(P.30)参照

※2 参考値

最大消費電力36W(輝度最大、USB機器接続時、スピーカー動作時、製品初期値) 標準消費電力12W(輝度120cd/m²、USB機器非接続時、スピーカー非動作時、製品初期値)

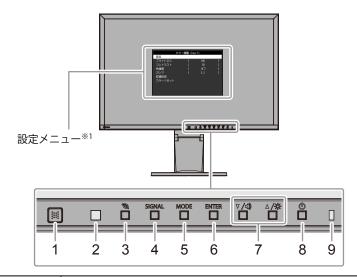
- 縦表示対応
- HDCP(著作権保護技術)により保護されたコンテンツを表示可能

参考

- ・この製品はモニターの縦表示に対応しています。縦表示にした場合は、設定メニューの向きも変更することができます(「3-5. 設置方向を設定する」(P.25)参照)。
- ・モニターを縦表示するためには、縦表示対応のグラフィックスボードが必要です。モニターを縦表示にした場合、ご使用のグラフィックスボードの設定を変更する必要があります。詳細は、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。当社のWebサイトもあわせて参照してください(http://www.eizo.co.jp)。

1-2. 各部の名称と機能

● 前面

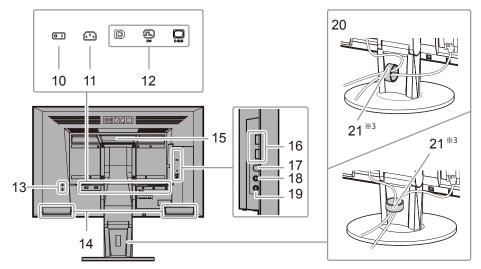


1. EcoView Senseセンサー	モニター正面の人の動きを検知します(EcoView Sense(エコビューセンス)機能 (P.30))。		
2. 外光センサー	周囲の明るさを検知します(Auto EcoView(オートエコビュー)機能 (P.29))。		
3. 🕲 ボタン	省電力機能(Auto EcoView(オートエコビュー)(P.29)、EcoView Optimizer 2(エコビューオプティマイザーツー)(P.30))、EcoView Sense(エコビューセンス)(P.30)の設定画面を表示します。		
4. SIGNAL ボタン	表示する入力信号を切り替えます (P.43) 。		
5. MODE ボタン	FineContrast(ファインコントラスト)モードを切り替えます(P.14)。		
6. ENTER ボタン	設定メニューを表示し、各メニューの調整項目を決定したり、調整結果を保存します (P.10)。		
7. ▼ /4))、▲ /※ ボタン*2	 ・設定メニューの選択や、機能の調整または設定をします。 ・▼/¶)ボタン:音量設定画面を表示します(P.24)。 ▲/※ボタン:明るさ(ブライトネス)調整画面を表示します(P.15)。 		
8.	電源のオン/オフを切り替えます。		
9. 電源ランプ	モニターの動作状態を表します。白:画面表示橙:省電力モード消灯:主電源/電源オフ		

^{※1} 使用方法は、「1-3. 基本操作と機能一覧」(P.10)を参照してください。

^{**2} この取扱説明書では、これ以降 \P/\P のボタンを \P 、 $\blacktriangle/$ のボタンを \blacktriangle と表記する場合があります。

●背面



主電源の┃:オン/○:オフを切り替えます。
電源コードを接続します。
左:DisplayPortコネクタ/中:DVI-Dコネクタ/右:D-Sub15ピン(ミニ)コネクタ
Kensington社製のMicroSaverセキュリティシステムに対応しています。
音声を出力します。
運搬用のハンドルです。
注意点
・運搬時にはハンドルと画面の下部をしっかりと持ち、モニターを落とさないよ
うご注意ください。
USBに対応している周辺機器と接続できます。
USBハブ機能を使用する場合にUSBケーブルを接続します(P.44)。
ヘッドホンを接続します。
外部音声をモニターで再生できるようにします。
高さと角度(チルト、スウィーベル)が調整できます。
ケーブルを収納します。

^{※3} ケーブルホルダーの取付方法は、「6-3. ケーブルホルダーの取付方法/取外方法」(P.41)を参照してください。

^{※4} この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム(またはオプションスタンド)に取り付けることが可能になります(「6-1. オプションアーム取付方法」(P.37)参照)。

1-3. 基本操作と機能一覧

● 設定メニューの基本操作方法

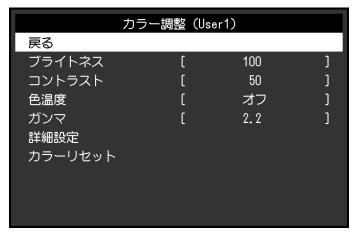
1. 設定メニューの表示

1. ENTER を押し、設定メニューを表示します。



2. 調整/設定

1. ▼ ▲ で、調整/設定したいメニューを選択し、 ENTER を押します。サブメニューが表示されます。



2. ▼▲で、調整/設定したい項目を選択し、ENTERを押します。調整/設定メニューが表示されま す。



3. **▼** ▲ で、調整/設定し、ENTER を押して確定します。

3.終了

- 1. サブメニューで「戻る」を選択し、ENTERを押します。設定メニューが表示されます。
- 2. 設定メニューで「メニューオフ」を選択し、ENTERを押します。設定メニューが終了します。

参考

・ENTERをすばやく続けて2回押しても設定メニューを終了させることができます。

● 機能一覧

設定メニューおよび各メニューの設定項目の一覧表です。

メインメニュー		項目	参照先
カラー調整 ^{※1}	ブライトネス		「2-3. カラーを調整する」(P.14)
	コントラスト		
	色温度		
	ガンマ		
	詳細設定	色の濃さ	
		色合い	
		ゲイン	
	カラーリセット		「カラー調整値をリセットする」 (P.27)
画面調整	画面サイズ		「画面サイズを切り替える」 (P.23)
	スムージング		「2-4. 画面を調整する」(P.19)
	アナログ調整**2	自動画面調整	
		自動レンジ調整	
		クロック	
		フェーズ	
		水平ポジション	
		垂直ポジション	
サウンド設定	音源		「3-2. DisplayPort信号入力時の音源を切り替える」(P.24)
	パワーセーブ		「音声出力」(P.29)
PowerManager	パワーセーブ		「4-1. パワーセーブを設定する」(P.28)
	Ecoタイマー		「4-6. モニターの自動電源切断機能を設定する」(P.32)
 本体設定	】 入力信号		「入力信号の切替方法を設定する」(P.44)
TTITUE	電源ランプ		「4-2.電源ランプの表示を設定する」 (P.29)
	言語選択		「3-8. 表示言語を設定する」 (P.26)
	DDC/CI		「3-3. DDC/CI通信の有効/無効を設定する」
			(P.24)
	ボーダー	T	「画像の非表示部分の明るさを変える」 (P.23)
	メニュー設定	設置方向	「3-5. 設置方向を設定する」(P.25)
		起動ロゴ	「3-6.EIZOロゴを表示/非表示にする」 (P.25)
		メニューポジション	「3-7.設定メニューの位置を変更する」 (P.26)
	リセット		「すべての設定内容をリセットする」 (P.27)
インフォメーション			「6-6. モニター情報を表示する」(P.45)

^{※1 「}カラー調整」で調整/設定できる機能はモードにより異なります(「各モードの調整項目」(P.15)参 照)。

^{※2} アナログ信号入力の場合に調整できます。

第2章 画面を調整する

2-1. 対応解像度

この製品は次の解像度に対応しています。

● アナログ信号(D-Sub)入力時

解像度	対応信号	垂直走査周波数	ドットクロック		
640×480	VGA	60Hz			
800×600	VESA	60Hz			
1024×768	VESA	60Hz			
1280×720 ^{*1}	CEA-861	60Hz	202.5MHz		
1280×960	VESA	60Hz	(Max.)		
1280×1024	VESA	60Hz	(IVIdX.)		
1600×1200	VESA	60Hz			
1680×1050	VESA CVT, VESA CVT RB	60Hz			
1920×1200 ^{**2}	VESA CVT, VESA CVT RB	60Hz			

● デジタル信号(DVI-D)入力時

解像度	対応信号	垂直走査周波数	ドットクロック		
640×480	VGA	60Hz			
800×600	VESA	60Hz			
1024×768	VESA	60Hz			
1280×720 ^{*1}	CEA-861	60Hz	162MHz		
1280×960	VESA	60Hz	(Max.)		
1280×1024	VESA	60Hz	(IVIdX.)		
1600×1200	VESA	60Hz			
1680×1050	VESA CVT, VESA CVT RB	60Hz			
1920×1200 ^{**2}	VESA CVT RB	60Hz			

● デジタル信号(DisplayPort)入力時

解像度	対応信号	垂直走査周波数	ドットクロック
640×480	VGA, CEA-861	60Hz	
720×480 (4:3)	CEA-861	60Hz	
720×480 (16:9)	CEA-861	60Hz	
800×600	VESA	60Hz	
1024×768	VESA	60Hz	162MHz
1280×720 ^{*1}	CEA-861	60Hz	(Max.)
1280×960	VESA	60Hz	(IVIdX.)
1280×1024	VESA	60Hz	
1600×1200	VESA	60Hz	
1680×1050	VESA CVT, VESA CVT RB	60Hz	
1920×1200 ^{*2}	VESA CVT RB	60Hz	

^{※1} この解像度では「画面サイズ」の設定が「フルスクリーン」になります(「2-5. 画面サイズを切り替える」 (P.23) 参照)。

^{※2} 推奨解像度です。

2-2. 解像度を設定する

モニターをコンピュータに接続したときに適切な解像度で表示されない場合、または解像度を変更したい場合は、次の手順で解像度を変更します。

● Windows 10の場合

- 1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、右クリックします。
- 2. 表示されるメニューから「ディスプレイ設定」をクリックします。
- 3. 複数のモニターをコンピュータに接続している場合は、モニターを選択します。
- 4. 「解像度」のプルダウンメニューから解像度を選択します。
- 5. 確認画面が表示されるので、「変更の維持」ボタンをクリックします。

● Windows 8.1/Windows 7の場合

- 1. Windows 8.1の場合、スタート画面から「デスクトップ」のタイルをクリックして、デスクトップを表示します。
- 2. デスクトップ上のアイコンがない場所で、右クリックします。
- 3. 表示されるメニューから「画面の解像度」をクリックします。
- 4. モニターを選択し、「解像度」のプルダウンメニューから解像度を選択します。
- 5. 「OK」ボタンをクリックします。
- 6. 確認のダイアログボックスが表示されるので、「変更を維持する」ボタンをクリックします。

● OS X Mountain Lion(10.8)以降の場合

- 1. アップルメニューの「システム環境設定」をクリックします。
- 2. 「システム環境設定」ダイアログボックスが表示されるので、「ディスプレイ」をクリックします。(OS X Mountain Lion(10.8)の場合は、「ハードウェア」欄から「ディスプレイ」をクリックします。)
- 3. 表示されたダイアログボックスで「ディスプレイ」タブを選択し、「解像度」から「変更」を選択します。
- 4. 設定可能な解像度の一覧が表示されるので、一覧から解像度を選択します。目的の解像度が一覧に表示されない場合は、キーボードのOptionキーを押しながら「変更」を選択してください。
- 5. 選択したらすぐに画面が変更されるので、適切な解像度に設定したらウィンドウを閉じます。

● Mac OS X 10.7の場合

- 1. アップルメニューの「システム環境設定」をクリックします。
- 2. 「システム環境設定」ダイアログボックスが表示されるので、「ハードウェア」欄の「ディスプレイ」をクリックします。
- 3. 表示されたダイアログボックスで「ディスプレイ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
- 4. 選択したらすぐに画面が変更されるので、適切な解像度に設定したらウィンドウを閉じます。

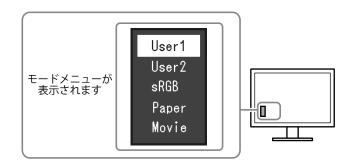
2-3. カラーを調整する

● 表示モード(FineContrast(ファインコントラスト)モード)を選択す る

モニターの用途に応じた表示モードに簡単に切り替えることができます。

モードの種類

モード	目的
User1	好みに応じた設定をおこなう際に選択します。
User2	
sRGB	sRGB対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。
Paper	紙に印刷したような見え方になります。書籍や文書などの表示に適しています。
Movie	動画の再生に適しています。



設定方法

- 1. MODE を押します。
 - モードメニューが画面左下に表示されます。
- 2. MODE を押すたびにモードが順に切り替わり表示されます。 モードメニュー表示中は、▼または▲を押してモードを切り替えることもできます。

参考

設定メニューとモード名を同時に表示させることはできません。

) 詳細な調整をする

設定メニューの「カラー調整」で、モードごとに独立したカラー調整の設定、保存ができます。

- ・モニターの表示が安定するまでに、約30分かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するま でお待ちください。
- ・アナログ信号のカラー調整をおこなうときは、最初にレンジ調整をおこなってください(「色階調を自動調 整する」(P.21)参照)。
- ・モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合がありま す。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

● 各モードの調整項目

モードの種類により、調整できる機能が異なります。 (調整/設定できない機能は選択できません。)

○:調整可 ─:調整不可

₩₩₩ ₩		FineContrast(ファインコントラスト)モード				
	機能名		User2	sRGB	Paper	Movie
ブライトネ	ス	0	0	0	0	0
コントラス	٢	0	0	_	_	0
色温度	色温度		0	_	0	0
ガンマ		0	0	_	_	_
詳細設定	色の濃さ	0	0	_	_	0
	色合い	0	0	_	_	0
	ゲイン	0	0	_	_	_
カラーリセット		0	0	0	0	0

● ブライトネス (明るさ) を調整する

バックライト(液晶パネル背面の光源)の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

0~100

設定方法

- 1. ▲/※を押します。
- ₹または ★で設定します。
- 3. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- ・ブライトネスが100でも暗いと感じた場合はコントラスト調整をおこなってください。
- ・設定メニューの「カラー調整」 「ブライトネス」で調整することもできます。
- 自動的に画面の明るさを調整するには、「4-3. モニターの自動明るさ調整を設定する」 (P.29) を参照してください。

● コントラストを調整する

ビデオ信号のレベルを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

0~100

設定方法

- 1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「カラー調整」で「コントラスト」を選択し、ENTERを押します。 「コントラスト」が表示されます。
- 3. **▼**または **△** で設定します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- ・50ですべての色階調を表示します。
- ・画面の明るさは、初めに、階調特性を損なうことのないブライトネスで調整することをお勧めします。
- コントラスト調整は次のような場合に使用してください。
- ブライトネスが100でも画面が暗いと感じたとき。 (コントラストを50以上に設定します。)

● 色温度を調整する

色温度を調整します。

通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられるもので、K:Kelvin(ケルビ ン)という単位で表します。

炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、 色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。

設定範囲

オフ、4000K~10000K(500K単位、9300K含む)

設定方法

- 1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「カラー調整」で「色温度」を選択し、ENTERを押します。 「色温度」が表示されます。
- 3. ▼または ▲ で設定します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- 「K」表示は調整の目安としてご利用ください。
- 「ゲイン」でさらに詳細な調整が可能です(「ゲインを調整する」(P.18)参照)。
- 「オフ」でパネル本来の色(ゲインの値はRGB各100)になります。
- ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。

● ガンマを調整する

ガンマ値を調整します。モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。

設定範囲

1.8, 2.0, 2.2

設定方法

- 1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「カラー調整」で「ガンマ」を選択し、ENTERを押します。 「ガンマ」が表示されます。
- ▼または ▲ で設定します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

• FineContrastモードで「Paper」を選択すると、ガンマ値は「Paper」と表示されます。「Paper」は、紙に印刷したような見え方にするための専用の設定です。

● 色の濃さを調整する

色の濃さを調整します。

設定範囲

-50~50

設定方法

- 1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「カラー調整」で「詳細設定」を選択し、ENTERを押します。
- 3. 「詳細設定」で「色の濃さ」を選択し、ENTERを押します。 「色の濃さ」が表示されます。
- 4. ▼または ▲ で設定します。
- 5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

・最小値(-50)で白黒の画面となります。

● 色合いを調整する

色合いを調整します。

設定範囲

-50~50

設定方法

- 1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「カラー調整」で「詳細設定」を選択し、ENTERを押します。
- 3. 「詳細設定」で「色合い」を選択し、ENTERを押します。 「色合い」が表示されます。
- 4. ▼または ▲ で設定します。
- 5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

● ゲインを調整する

色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の 色調を変更することができます。

設定範囲

0~100

設定方法

- 1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「カラー調整」で「詳細設定」を選択し、ENTERを押します。
- 3. 「詳細設定」で「ゲイン」を選択し、ENTERを押します。 「ゲイン」が表示されます。
- 4. 赤、緑、青それぞれの値を▼または▲で設定します。
- 5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

- ・色温度の値に応じてゲインの値が変わります。
- ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。

2-4. 画面を調整する

● デジタル信号入力の場合

デジタル信号入力の場合は、この製品の設定データに基づいて画面が正しく表示されますが、文字や線がぼやけている場合は、「文字や線のぼやけを直す」(P.22)にお進みください。 さらに詳細な調整をおこなう場合は「2-3. カラーを調整する」(P.14)以降を参照してください。

● アナログ信号入力の場合

注意点

- ・モニターの表示が安定するまでに、約30分かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。
- ・解像度800×600 (SVGA) 未満の信号ではセルフアジャスト機能(自動画面調整機能)は働きません。
- ・セルフアジャスト機能/自動画面調整機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく 動作します。次のような場合には、正しく動作しません。
 - コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合
 - 壁紙など背景を黒で使用している場合

また、一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

モニターの画面調整とは、使用するコンピュータに合わせ、画面のちらつきを抑えたり画像の表示位置やサイズを正しく調整するためのものです。

参考

- 次の場合にセルフアジャスト機能が働きます。
 - モニターに初めて信号を入力した場合、または、これまでに表示したことのない解像度や垂直走査周波数、 水平走査周波数に変更した場合

セルフアジャスト実行後も、画面が正確に表示されていない場合は、快適に使用していただくため に、次の設定手順に従って画面を調整してください。

設定手順

1. 画面のちらつき、表示位置、サイズを自動調整します。

設定方法

- 1. 設定メニューの「画面調整」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「画面調整」で「アナログ調整」を選択し、ENTERを押します。
- 3. 「アナログ調整」で「自動画面調整」を選択し、ENTERを押します。
- 4. ▼または ▲ で「はい」を選択し、ENTER を押します。 自動調整機能が働き、画面のちらつき、表示位置、サイズが正しく設定されます。

自動調整を実行しても画面が正確に表示されていない場合は次の手順に従って調整をおこなってください。 正確に表示された場合は、「3. 色階調を調整します。」 (P.21) にお進みください。

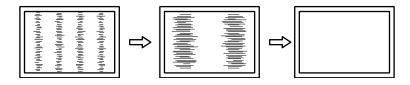
2. 設定メニューの「画面調整」で詳細な調整をします。

クロック→フェーズ→ポジションを順に調整します。

● 縦縞を消す

設定方法

- 1. 「画面調整」で「アナログ調整」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「アナログ調整」で「クロック」を選択し、ENTERを押します。 「クロック」が表示されます。
- 3. ▼または ▲ で縦縞が消えるように設定します。 設定が合ったポイントを見逃しやすいので▼▲をゆっくり押して設定するようにしてください。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。 設定後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「ちらつきやにじみをとる」に進み設定をお こなってください。

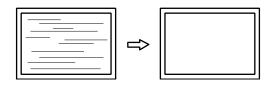


● ちらつきやにじみをとる

設定方法

- 1. 「画面調整」で「アナログ調整」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「アナログ調整」で「フェーズ」を選択し、ENTERを押します。 「フェーズ」が表示されます。
- 3. ▼または ▲ で最もちらつきやにじみのない画面に設定します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

設定後、画面に縦縞が現れた場合は、「縦縞を消す」に戻り、再度設定をおこなってください。 (クロック→フェーズ→ポジション)



注意点

お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくならないものがあります。

● 表示位置のずれを直す

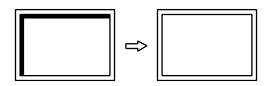
・液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は1箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動するための調整です。

設定方法

- 1. 「画面調整」で「アナログ調整」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「アナログ調整」で「水平ポジション」または「垂直ポジション」を選択し、ENTERを押します。

「水平ポジション」または「垂直ポジション」が表示されます。

- 3. 画像の位置が合うように ▼ または ▲ で設定します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。



3. 色階調を調整します。

● 色階調を自動調整する

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調(0~255)を表示できるように調整できます。

- 1. 設定メニューの「画面調整」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「画面調整」で「アナログ調整」を選択し、ENTERを押します。
- 3. 「アナログ調整」で「自動レンジ調整」を選択し、ENTERを押します。
- 4. ▼または ▲ で「はい」を選択し、 ENTER を押します。 出力レンジが自動的に設定されます。

4. 文字や線のぼやけを直します。

文字や線のぼやけを直す

推奨解像度以外の解像度で表示した場合、表示された画像の文字や線がぼやけて見える場合があり

注意点

・表示解像度によってはスムージングを設定する必要はありません。(スムージングアイコンを選択すること はできません。)

設定範囲

1~5

- 1. 設定メニューの「画面調整」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「画面調整」で「スムージング」を選択し、ENTERを押します。 「スムージング」が表示されます。
- 3. **▼**または **△**で設定します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

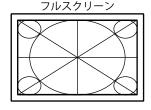
2-5. 画面サイズを切り替える

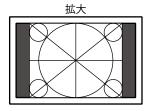
● 画面サイズを切り替える

推奨解像度以外の解像度は、自動的に画面全体に拡大されますが、「画面サイズ」機能を使用して表示サイズを切り替えることができます。

設定	機能
	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦、横一定ではないため、表示画像に 歪みが見られる場合があります。
3/>	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率を縦、横一定にするため、水平、垂直の どちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。

例:1024×768を表示した場合





設定方法

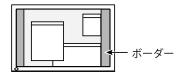
- 1. 設定メニューの「画面調整」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「画面調整」で「画面サイズ」を選択し、ENTERを押します。 「画面サイズ」が表示されます。
- 3. ▼または ▲ で「フルスクリーン」/「拡大」のどちらかを選択します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

• 1280×720または1920×1080の解像度を表示した場合、「フルスクリーン」に固定されます。

● 画像の非表示部分の明るさを変える

画面サイズの設定が「拡大」のときには、画像の周囲にボーダー(画像が表示されていない暗い部分)が表示されます。



- 1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「本体設定」で「ボーダー」を選択し、ENTERを押します。 「ボーダー」が表示されます。
- 3. **▼**または **△**で設定します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

第3章 モニターを設定する

3-1. 音量を調整する

スピーカーやヘッドホンの音量を調整することができます。

設定範囲

0~30

設定方法

- 1. ▼/•1)を押します。
- ▼または ▲ で設定します。
- 3. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

・スピーカーとヘッドホンそれぞれの音量を、個別に設定することができます。

3-2. DisplayPort信号入力時の音源を切り替える

DisplayPort信号入力時の音源を切り替えます。ステレオミニジャック/DisplayPortが選択できます。

設定方法

- 1. 設定メニューの「サウンド設定」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「サウンド設定」で「音源」を選択し、ENTERを押します。 「音源」が表示されます。
- 3. ▼または ▲ で「ステレオミニジャック」または「DisplayPort」を選択します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

• DisplayPort信号入力の場合に変更できます。

3-3. DDC/CI通信の有効/無効を設定する

DDC/CI通信の有効/無効を切り替えます。

設定方法

- 1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「本体設定」で「DDC/CI」を選択し、ENTERを押します。 「DDC/CI」が表示されます。
- 3. ▼または ▲ で「オン」または「オフ」を選択します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

・この機種のDisplayPort入力はDDC/CIに対応していません。

3-4. 操作ボタンをロックする

設定した状態を変更できないようにします。

設定方法

- 1. **心**を押して、モニターの電源を切ります。
- 2. SIGNAL を押しながら **()** を押してモニターの電源を入れます。 操作を実行するたびにロック/ロック解除が切り替わります。

参考

- ロックした状態でも次の操作は可能です。
 - 電源ボタンによる電源オン/オフ

3-5. 設置方向を設定する

モニターを縦表示にした場合は、設定メニューの向きも変更することができます。

設定方法

- 1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「本体設定」で「メニュー設定」を選択し、ENTERを押します。
- 3. 「メニュー設定」で「設置方向」を選択し、ENTERを押します。 「設置方向」が表示されます。
- 4. ▼または ▲ で「横置き」または「縦置き」を選択します。
- 5. 設定が完了したら ENTER を押します。
- 6. 「縦置き」を選択した場合は、モニター画面を時計回りに90°回転します。

注意点

- ケーブル類が正しく接続されているかご確認ください。
- ・モニターの画面を回転する場合は、いったんスタンドの上限まで画面を引き上げて、上向き(チルト)にしてから回転してください。

参老

・モニターを縦表示するためには、縦表示対応のグラフィックスボードが必要です。モニターを縦表示にした場合、で使用のグラフィックスボードの設定を変更する必要があります。詳細は、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。当社のWebサイトもあわせて参照してください(http://www.eizo.co.jp/i/rotation)。

3-6. EIZOロゴを表示/非表示にする

この製品の電源を入れたときに、EIZOロゴが表示されます。このロゴの表示/非表示の切り替えができます。

- 1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「本体設定」で「メニュー設定」を選択し、ENTERを押します。
- 3. 「メニュー設定」で「起動ロゴ」を選択し、ENTERを押します。 「起動ロゴ」が表示されます。
- 4. ▼または ▲ で「オン」または「オフ」を選択します。
- 5. 設定が完了したら ENTER を押します。

3-7. 設定メニューの位置を変更する

設定メニューの表示位置を移動できます。

設定方法

- 1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「本体設定」で「メニュー設定」を選択し、ENTERを押します。
- 3. 「メニュー設定」で「メニューポジション」を選択し、ENTERを押します。 「メニューポジション」が表示されます。
- 4. ▼または ▲ で位置を選択します。
- 5. 設定が完了したら ENTER を押します。

3-8. 表示言語を設定する

設定メニューやメッセージの表示言語が選択できます。

選択できる言語

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、スウェーデン語、日本語、中国語(簡 体)、中国語(繁体)

- 1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「本体設定」で「言語選択」を選択し、ENTERを押します。 「言語選択」が表示されます。
- 3. ▼または ▲ で言語を選択します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

3-9. 初期設定に戻す

設定値を初期設定にリセットします。

注意点

・リセット実行後は、リセット前の状態に戻すことはできません。

● カラー調整値をリセットする

現在選択しているモードのカラー調整値のみを初期設定に戻します。

設定方法

- 1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「カラー調整」で「カラーリセット」を選択し、ENTERを押します。
- 3. ▼または ▲ で「はい」を選択します。
- 4. ENTER を押します。 カラー調整値が初期設定になります。

● 「EcoView Sense設定」をリセットする

「EcoView Sense設定」の設定内容を初期設定に戻します。

設定方法

- 1. 🕲 を押します。
- 2. 「EcoViewメニュー」で「EcoView Sense設定」を選択し、 ENTER を押します。
- 3. 「EcoView Sense設定」で「リセット」を選択し、ENTERを押します。
- 4. ▼または ▲ で「はい」を選択します。
- 5. ENTER を押します。

「EcoView Sense設定」の設定内容が初期設定になります。

参考

• 「EcoView Sense設定」は、「EcoView Sense」を「オン」に設定している場合のみ、変更およびリセットできます(「4-4. 離席時の省電力モードを設定する」(P.30)参照)。

● すべての設定内容をリセットする

すべての設定内容を初期設定に戻します。

設定方法

- 1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「本体設定」で「リセット」を選択し、ENTERを押します。
- 3. ▼または ▲ で「はい」を選択します。
- 4. ENTER を押します。

すべての設定内容が初期設定になります。

第4章 省電力機能について

4-1. パワーセーブを設定する

● モニター

コンピュータの状態と連動してモニターを省電力モードにする/しないの切り替えができます。省電 カモードに移行すると画面を非表示にします。

- ・主電源を切るか、電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。
- ・モニターが省電力モードの場合、USBダウンストリームポートに接続している機器は動作します。そのためモ ニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。
- ・ステレオミニジャックケーブルが接続されている場合も消費電力は変化します。

・信号が入力されなくなったことを検出してから、約15秒後に省電力モードに移行します。

設定方法

- 1. 設定メニューの「PowerManager」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「PowerManager」で「パワーセーブ」を選択し、ENTER を押します。 「パワーセーブ」が表示されます。
- 3. ▼または ▲ で「オン」または「オフ」を選択します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

省電力の流れ

アナログ信号入力の場合

「VESA DPM」に準拠しています。

コンピュ-	-タの状態	モニターの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	白
省電力モード	スタンバイ サスペンド オフ	省電力モード	橙
電源オフ		省電力モード	橙

デジタル信号入力の場合

- · DVI信号入力時 「DVI DMPM」に準拠しています。
- DisplayPort信号入力時 「DisplayPort Standard V1.1a」に準拠しています。

コンピュータの状態	モニターの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	白
省電力モード	省電力モード	橙
電源オフ	省電力モード	橙

省電力モードからの復帰方法

モニターに信号が入力されると、自動的に復帰し画面が表示されます。

●音声出力

モニターの省電力モード時に、スピーカーまたはヘッドホンから音声を出力する/しないの切り替え ができます。

設定方法

- 1. 設定メニューの「サウンド設定」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「サウンド設定」で「パワーセーブ」を選択し、ENTERを押します。 「パワーセーブ」が表示されます。
- 3. ▼または ▲ で「サウンド オン」または「サウンド オフ」を選択します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

4-2. 電源ランプの表示を設定する

画面表示時の電源ランプ(白)の点灯/消灯の切り替えができます。

設定方法

- 1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「本体設定」で「電源ランプ」を選択し、ENTERを押します。 「電源ランプ」が表示されます。
- 3. ▼または ▲ で「オン」または「オフ」を選択します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

4-3. モニターの自動明るさ調整を設定する

Auto EcoView

Auto EcoView(オートエコビュー)を使用するとモニター下部の外光センサーが周囲の明るさを検 知し、自動的に画面の明るさを調整します。

注意点

• Auto EcoView機能を使用する場合は外光センサーをふさがないように注意してください。

- 1. 🕲 を押します。
- 2. 「EcoViewメニュー」で「Auto EcoView」を選択し、ENTER を押します。 「Auto EcoView」が表示されます。
- 3. ▼または ▲ で「強」/「標準」/「オフ」のいずれかを選択します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

- Auto EcoViewの自動調整の範囲は、設定メニューの「ブライトネス」を調整すると、連動して変更されま
- 「標準」の設定で画面が明るく感じるときに「強」にしてください。

EcoView Optimizer 2

EcoView Optimizer 2(エコビューオプティマイザーツー)を使用すると、入力信号の白レベルに応 じて自動的に画面の明るさを調整します。入力信号の明るさを維持しながら、消費電力を削減するこ とができます。

設定方法

- 1. 🕲 を押します。
- 2. 「EcoViewメニュー」で「EcoView Optimizer 2」を選択し、ENTER を押します。 「EcoView Optimizer 2」が表示されます。
- 3. ▼または ▲ で「オン」または「オフ」を選択します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- FineContrast (ファインコントラスト) モードで「Movie」を選択している場合、設定が「オフ」になりま
- EcoView Optimizer 2が「オン」の場合、淡い色が若干異なって表示されることがあります。気になる場合は 「オフ」にしてください。

4-4. 離席時の省電力モードを設定する

EcoView Sense(エコビューセンス)をオンに設定すると、モニター正面のセンサーが人の動きを検知し ます。人がモニターから離れると、モニターは自動的に省電力モードに移行し、画面を非表示にして消 費電力を低減します。再度人が近づくと、省電力モードから復帰して画面を表示します。モニターの使 用環境や使用者の動作量に応じて、感度、省電力モードに移行するまでの時間を設定できます。

・省電力モードへの移行時には、移行をお知らせするメッセージが表示されます。

設定方法

1. 🕲 を押します。



- 2. 「EcoViewメニュー」で「EcoView Sense」を選択し、ENTERを押します。 「EcoView Sense」が表示されます。
- 3. ▼または ▲ で「オン」または「オフ」を選択します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

5. 「オン」を選択した場合、「EcoView Sense設定」を選択して詳細を設定します。



項目	設定範囲	詳細
検知時間	5、30sec 1、3、5、10、15、 30、45、60min	人がモニターから離れてから、「離席中」というメッセージが表示 されるまでの時間を設定します。メッセージが表示されると、約20 秒後にモニターが省電力モードに移行します。
検知感度	レベル5 レベル4 レベル3 レベル2 レベル1	設定値を大きくすると(最大で「レベル5」)、人の小さな動きも 敏感に検知し、省電力モードに移行しにくくなります。逆に、設 定値を小さくすると(最小で「レベル1」)、人の大きな動きだけ を検知し、省電力モードに移行しやすくなります。EcoView Sense は、モニター正面のセンサーが熱の移動を検知することで機能しま す。そのため、服装や気温により感度が変化します。意図せず省電 力モードに移行したり、省電力モードから復帰する場合には、設定 値を変更してみてください。
リセット	-	すべての設定内容を初期設定に戻します。

参考

- ・ 縦置きで使用する場合は横置きより感度が低くなるため、意図せず省電力モードに移行する場合には検知感 度の設定値を大きくしてみてください。
- ・気温が高いときは感度が低くなるため検知感度を大きく、気温が低いときは感度が高くなるため検知感度を 小さく設定するとより快適に使用いただけます。

4-5. 省電力の度合いを表示する

EcoViewメニューで電力削減量、CO2削減量、省エネレベルを確認できます。省エネレベルを表すインジ ケータが多く点灯するにつれ、省電力の度合いが高くなります。

例:



設定方法

1. 🕲 を押します。

「EcoViewメニュー」が表示されます。

参考

- ・電力削減量:ブライトネスの調整値に応じた、バックライト消費電力の低減量です。
 - CO₂ 削減量:電力削減量から換算した、モニターを1時間使用した場合に削減できるCO₂排出量の目安です。
 - ※数値は「特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令(平成18年経済産業省 環境 省令第3号) に定める初期設定値(0.000555t-CO2/kWh)」を元に算出しており、国、年度などによって変わる 可能性があります。

4-6. モニターの自動電源切断機能を設定する

モニターの省電力モードが一定時間続いたときに、モニターの電源を自動的に切る/切らないの切り替え ができます。

オフ、0、1、2、3、5、10、15、20、25、30、45min、1、2、3、4、5h

- 1. 設定メニューの「PowerManager」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「PowerManager」で「Ecoタイマー」を選択し、ENTER を押します。
- 3. ▼または ▲で「オフ」またはモニターの電源が切れるまでの時間を選択します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

第5章 こんなときは

5-1. 画面が表示されない場合

症状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない電源ランプが点灯しない	 電源コードは正しく接続されていますか。 主電源を入れてください。 也を押してください。 主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。
電源ランプが点灯:白色	設定メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」、 「ゲイン」の各調整値を上げてみてください(「詳細な調整をする」(P.14)参照)。
・電源ランプが点灯:橙色	・ SIGNAL で入力信号を切り替えてみてください。 ・ マウス、キーボードを操作してみてください。 ・ コンピュータの電源は入っていますか。 ・ EcoView Senseをオンに設定している場合、省電力モードに移行している可能性があります。モニターに近づいてみてください。それでも画面が表示されない場合は、マウス、キーボードを操作してみてください。 ・ で使用のコンピュータおよびグラフィックスボードによっては、入力信号が検出されず、省電力モードから復帰しない場合があります。マウス、キーボードを操作しても画面が表示されない場合は、モニターの電源ボタンで電源を切って、再度電源を入れてください。症状が改善される場合があります。 1. ②を押して、モニターの電源を切ります。 2. ②を押して、モニターの電源を入れます。 設定メニューの「インフォメーション」のメニュータイトルに「x」が表示されます(「6-6.モニター情報を表示する」(P.45)参照)。 3. コンピュータを再起動します。設定を元に戻す場合は、手順1~3を再度実行します。 インフォメーション(OVI) 「FlexSoan EV2430 をパは、00000001 使用時間(h)入力信号 1290×1200
• 電源ランプが点滅:橙色	DisplayPort入力の場合に、この症状が発生することがあります。当社指定の信号ケーブルで接続し、モニターの電源を入れ直してみてください。

症状	原因と対処方法
2. 次のようなメッセージが表示される	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく 入力されないときに表示されます。
入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。例:DVI信号エラー	 コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、 垂直走査周波数になっていますか(「2-1. 対応解像度」 (P.12)参照)。 コンピュータを再起動してみてください。 グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な 設定に変更してください。詳細はグラフィックスボード の取扱説明書を参照してください。

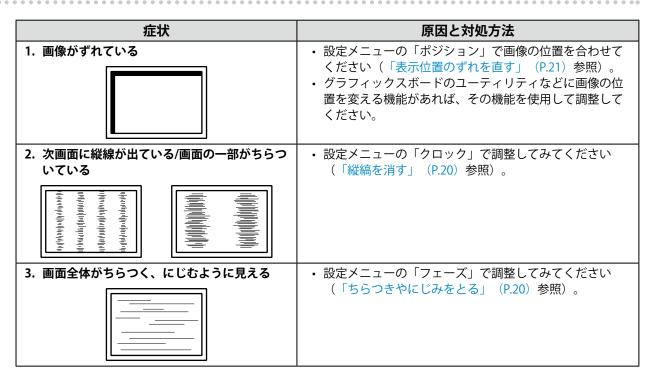
5-2. 画面に関する症状(デジタル、アナログ共通)

症状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる/暗すぎる	 設定メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」を調整してください。(液晶モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、お客様ご相談窓口にご相談ください。) 画面が明るすぎる場合は、Auto EcoView(オートエコビュー)をオンにしてみてください。周囲の明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。
2. 文字がぼやけて見える	 コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、 垂直走査周波数になっていますか(「2-1.対応解像度」 (P.12)参照)。 推奨解像度以外の解像度で表示した場合、表示された 画像の文字や線がぼやけて見える場合があります。設 定メニューの「スムージング」および「画面サイズ」で 調整してみてください(「文字や線のぼやけを直す」 (P.22)、「画面サイズを切り替える」(P.23)参 照)。
3. 残像が現れる	 この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。
4. 画面に緑、赤、青、白のドットが残る/点灯しないドットが残る	これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
5. 画面上に干渉縞が見られる/パネルを押した跡が消えない	・画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
6. 画面にノイズが現れる	・ HDCP方式の信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。

5-3. 画面に関する症状 (デジタルのみ)

症状	原因と対処方法
1. マルチモニター環境でシングル表示に変更される(DisplayPort接続時)	・ DisplayPortを使用して2台のモニターを1台のコンピュータに接続している場合、1台のモニターの電源を電源ボタンで切ると、画面設定がシングルモニターの表示に変更されることがあります。この場合、次の手順で「DPHotPlug」機能を有効にしてみてください。なお、この機能を有効にすることで消費電力が上がる場合があります。 1. ①を押して、モニターの電源を切ります。 2. ▲を押しながら①を押してモニターの電源を入れます。 操作を実行するたびにこの機能の有効/無効が切り替わります。 入力ポートや信号エラーの表示の配色によって、現在の設定状態を判断することができます。 設定 入力ポート 信号エラー 無効 (出荷設定) DisplayPort 信号エラー 可対している場合のできます。 DisplayPort 信号エラー DisplayPort 信号エラー DisplayPort 信号エラー DisplayPort 信号エラー

5-4. 画面に関する症状 (アナログのみ)



5-5. その他の症状

症状	原因と対処方法
1. 設定メニューが表示できない	 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください(「3-4. 操作ボタンをロックする」(P.25)参照)。
2. 設定メニューにおいて、「画面調整」の「ス ムージング」が選択できない	・ 解像度が1920×1200の場合は、スムージングを選択する ことができません。
3. 自動調整機能が動作しない	 自動調整機能はデジタル信号入力時には動作しません。 この機能はWindowsなど表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。
4. 音声が出ない	 ステレオミニジャックケーブルは正しく接続されていますか。 音量が「0」になっていませんか。 コンピュータおよび音声を再生しているソフトウェアの設定を確認してください。 DisplayPort入力時は「音源」の設定を確認してみてください(「3-2. DisplayPort信号入力時の音源を切り替える」(P.24)参照)。
5. (EcoView Sense使用時) 離席しても画面が消えない/モニターに近づい ても画面が表示されない	 モニターの設置環境を確認してください。次の環境では正しく動作しないことがあります。 風が当たる場所にモニターを設置していませんか。 モニターの周辺に熱を出す機器がありませんか。 センサーの前に障害物がありませんか。 センサーに汚れが付いていませんか。汚れがある場合は、柔らかい布で取り除いてください。 モニターの正面に座っていますか。EcoView Senseは、モニター正面のセンサーが熱の移動を検知することで機能します。 気温が高い場合、省電力モードから復帰しないことがあります。マウス、キーボードを操作しても画面が表示されない場合は、モニターの電源ボタンで電源を切って、再度電源を入れてください。画面が表示されたら、検知感度を大きい値に変更してください(「4-4.離席時の省電力モードを設定する」(P.30)参照)。
6. モニターに接続しているUSB周辺機器が動作 しない	・USBケーブルは正しく接続されていますか(「6-5. USB/N ブ機能の使用方法」(P.44)参照)。 ・コンピュータの別のUSBポートに差し替えてみてください。 ・モニターの別のUSBポートに差し替えてみてください。 ・コンピュータを再起動してみてください。 ・直接コンピュータと周辺機器を接続してみて、周辺機器が正しく動作した場合は、お客様ご相談窓口にご相談ください。 ・ご使用のコンピュータおよびOSがUSBに対応しているかご確認ください(各機器のUSB対応については各メーカーにお問い合わせください)。 ・Windowsをご使用の場合、コンピュータに搭載されているBIOSのUSBに関する設定をご確認ください)。

第6章 ご参考に

6-1. オプションアーム取付方法

この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム(またはオプションスタンド)に取り付けることが可能になります。対応しているオプションアーム(またはオプションスタンド)については、当社のWebサイトを参照してください。http://www.eizo.co.jp

注意点

- ・取付の際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- ・他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、次の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA 規格準拠のものを選択してください。取付には本体部分とスタンドを固定しているねじをご使用ください。
 - 取付部のネジ穴間隔:100mm×100mm
 - プレート部の厚み: 2.6mm
 - 許容質量:モニター本体の質量(スタンドなし)とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- ・アームまたはスタンドを使用する場合は、次の範囲(チルト角)で使用してください。
 - 上45°下45°(横表示時、および時計回り90°に縦表示時)
- ・ケーブル類は、アームまたはスタンドを取り付けた後に接続してください。
- ・取り外したスタンドを昇降させないでください。モニター本体を取り付けていない状態でスタンドを昇降させる と、けがや故障の原因となります。
- ・モニターおよびアームまたはスタンドは重量があります。落としたりするとけがや故障の原因になります。
- ・縦置きに設置する場合は、モニター画面を時計回りに90°回転してください。

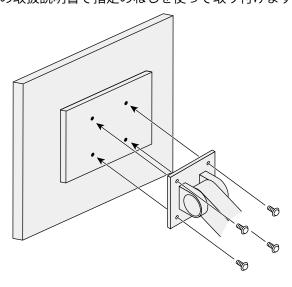
取付方法

- 1. パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。
- 2. スタンド部分を取り外します。

別途ドライバを準備ください。ドライバを使って、本体部分とスタンドを固定しているねじ4箇所を 取り外します。

3. モニターにアーム(またはスタンド)を取り付けます。

アームまたはスタンドの取扱説明書で指定のねじを使って取り付けます。

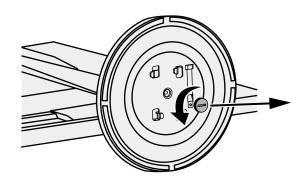


6-2. スタンドベースの取外方法/取付方法

取外方法

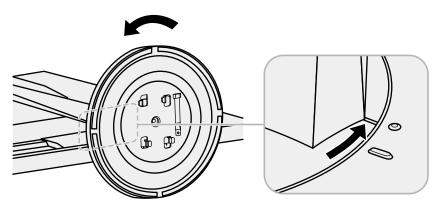
セットアップ時に取り付けたスタンドベースは、次の手順で取り外すことができます。

- 1. パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル 面を下に向けて置きます。
- **2.** スタンドベースを固定しているねじを回して外します。



・ねじは手で外すことができます。外しにくい場合は、コインやマイナスドライバなどをご使用ください。

3. スタンドベースを反時計回りに回して外します。



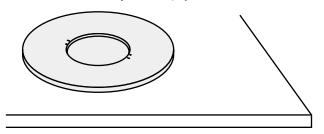
参考

・スタンドベースを再度使用する場合に備えて、ねじをスタンドベースに取り付けておいてください。

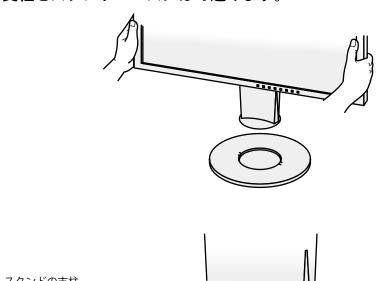
取付方法

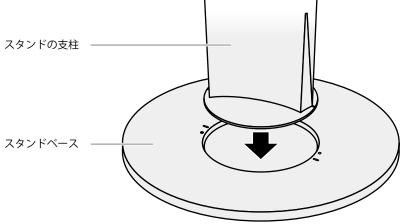
いったん取り外したスタンドベースは、次の手順で再度モニター本体に取り付けることができます。

- 1. スタンドベースの底面に、ねじがしっかり取り付けられていることを確認します。
- 2. 安定した場所にスタンドベースを置きます。

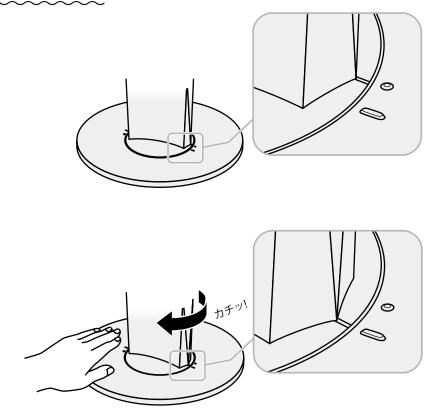


3. スタンドの支柱をスタンドベースにはめ込みます。





4. カチッと音がするまで、支柱を時計回りに回します。

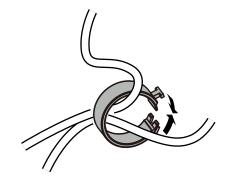


6-3. ケーブルホルダーの取付方法/取外方法

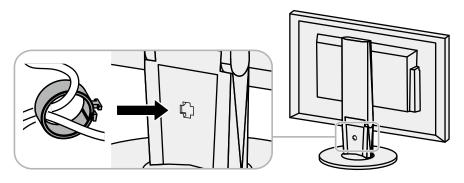
この製品にはケーブルホルダーが付属しています。モニターに接続したケーブル類を配線する際に利用 してください。

取付方法

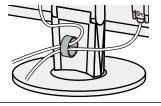
- 1. ケーブルホルダーにケーブルを通します。
- 2. ケーブルホルダーの開口部を締めます。

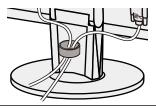


3. その状態のまま、スタンドに差し込みます。



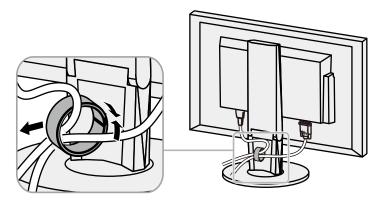
・ケーブルホルダーは縦、横のどちらの方向にも差し込むことができます。ケーブルの配線状況に応じて、ケーブ ルホルダーの向きを変えてください。





取外方法

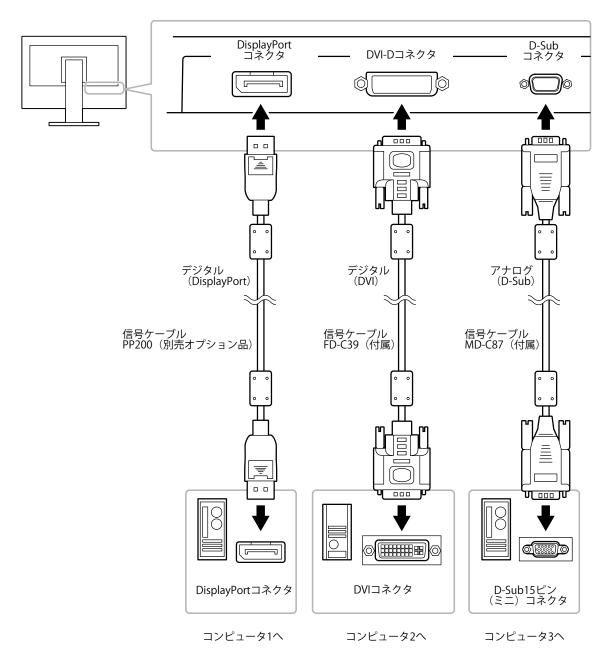
- 1. ケーブルホルダーの開口部を締めます。
- 2. その状態のまま、スタンドからケーブルホルダーを抜き取ります。



6-4. 複数のコンピュータを接続する

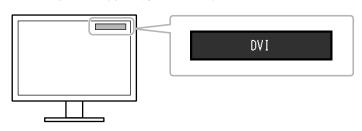
この製品は、複数のコンピュータを接続し、切り替えて表示することができます。

接続例



● 入力信号を切り替える

SIGNAL を押すたびに入力信号が切り替わります。 画面右上に選択された入力ポート名が表示されます。



● 入力信号の切替方法を設定する

設定	機能
	コンピュータ信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示します。 コンピュータの電源が切れたり、省電力モードに入ると自動的に、他の信号を表示しま す。
	信号が入力されているかどうかにかかわらず、選択されているコネクタからの信号を表示します。操作ボタンの SIGNAL で表示させたい入力信号を選択してください。

設定方法

- 1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTERを押します。
- 2. 「本体設定」で「入力信号」を選択し、ENTERを押します。
- 3. ▼または ▲ で「オート」または「マニュアル」を選択します。
- 4. 設定が完了したら ENTER を押します。

・「オート」が選択されている場合は、すべてのコンピュータが省電力モードに入っている場合のみモニター の省電力機能が動作します。

6-5. USBハブ機能の使用方法

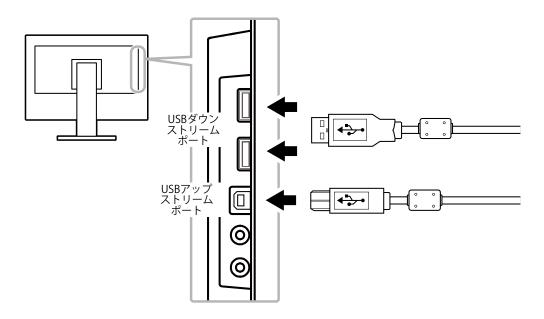
この製品はUSBハブを搭載しています。USB対応のコンピュータに接続することにより、この製品がUSB ハブとして機能し、USBに対応している周辺機器と接続できます。

注意点

- 使用するコンピュータ、OSおよび周辺機器によっては動作しない場合があります。各機器のUSB対応については 各メーカーにお問い合わせください。
- ・モニターが省電力モードの場合、USBダウンストリームポートに接続している機器は動作します。そのためモニ ターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。
- ・主電源スイッチオフ時、USBダウンストリームポートに接続されている機器は動作しません。

▶接続方法(USB機能のセットアップ方法)

- 1. はじめにコンピュータとモニターを信号ケーブルで接続し、コンピュータを起動しておきます。
- 2. USB対応のコンピュータのUSBダウンストリームポートとモニターのUSBアップストリームポート をUSBケーブルで接続します。
 - USBケーブルの接続により自動的にUSBのハブ機能がセットアップされます。
- 3. USB対応の周辺機器をモニターのUSBダウンストリームポートに接続します。



6-6. モニター情報を表示する

製品名、製造番号、使用時間、解像度、入力信号を表示します。

設定方法

1. 設定メニューの「インフォメーション」を選択し、ENTERを押します。 「インフォメーション」が表示されます。

注意点

・工場での検査のため、最初にモニターの電源を入れたときに使用時間が「0」ではない場合があります。

6-7. 仕様

液晶パネルサイズ			61.1cm(24.1)型	
/XHI/ \/\/	<u> </u>		カラーTFT、LEDバックライト	
	表面処理 視野角		アンチグレア、ハードコーティング	
			ケンテント、ハードコーティンテ 左右178°、上下178°(CR≧10)	
			注名176 、エド76 (CR至10) 0.270mm	
ドットピッチ		77		
ルガキ本用油粉	応答速度		中間階調域: 14ms	
水平走査周波数			31~76kHz	
	デジタル		31~76kHz	
	- 1 - 4°	DisplayPort		
垂直走査周波数		I D) //	55~61Hz (ノンインターレース)	
	デジタル	DVI	59~61Hz (ノンインターレース)	
		DisplayPort	59~61Hz (ノンインターレース)	
解像度			1920ドット×1200ライン	
ドットクロック			202.5MHz	
(最大)	デジタル		162MHz	
		DisplayPort		
最大表示色			約1677万色	
表示サイズ(水平×垂直)			518.4mm×324.0mm	
電源			AC100V±10%、50/60Hz、0.65A	
消費電力	画面表示時		36W以下	
	省電力モード時		0.3W以下 (USB非接続時、「EcoView Sense」:「オフ」設定時、「サウンド設定」-「パワーセーブ」:「サウンド オフ」設定時)	
電源オフ時主電源オフ時		 時	0.3W以下	
		 フ時	0W	
信号入力コネクタ			D-Sub15ピン (ミニ)	
			DVI-Dコネクタ(HDCP対応)	
			DisplayPortコネクタ(Standard V1.1a準拠、HDCP対応)	
			音声信号対応フォーマット	
			- 2chリニアPCM	
			(32kHz/44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHz)	
アナログ信号	入力同期信	 号	セパレート、TTL、正/負極性	
アナログ信号		 号	アナログ、正極性(0.7Vp-p/75Ω)	
デジタル信号 ([OVI)伝送7	 方式	TMDS (Single Link)	
音声出力	,		スピーカー出力:1.0W+1.0W	
			ヘッドホン出力:2mW+2mW(32Ω)	
寸法(幅)× 本体			552.5mm×368~499mm×233mm	
(高さ) × (奥 行き)	本体(スク	タンドなし)	552.5mm×358mm×56.9mm	
質量	本体		約6.7kg	
	本体(スタンドなし)		約4.3kg	
可動範囲			ブルト角度: 上35°下5° 上35°° 上36°° ———————————————————————————————————	
			スウィーベル角度: 344°	
			昇降: 140mm (チルト角度0°時は131mm)	
			ローテーション: 90°(時計回り)	

環境条件	温度	動作温度範囲:	5°C~35°C	
		輸送および保存温度範囲:	-20°C~60°C	
	湿度	動作湿度範囲:	20%~80% R.H.(非結露状態)	
		輸送および保存湿度範囲:	10%~90% R.H.(非結露状態)	
	気圧	動作気圧範囲:	540hPa~1060hPa	
		輸送および保存気圧範囲:	200hPa~1060hPa	
USB	規格	USB Specification Revision 2.0準拠		
	ポート	アップストリーム×1、ダウンストリーム×2		
	通信速度	480Mbps (ハイスピード)、	12Mbps(フルスピード)、1.5Mbps(ロー	
		スピード)		
	供給電源	ダウンストリーム:	最大500mA/1ポート	

●オプション品

信号ケーブル	PP200 (DisplayPort - DisplayPort)
クリーニングキット	EIZO 「ScreenCleaner」

オプション品に関する最新情報は、当社のWebサイトを参照してください。 http://www.eizo.co.jp

付録

商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DisplayPortコンプライアンスロゴ、VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。 SuperSpeed USB Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。

DICOMは、National Electrical Manufacturers Associationが所有する、医用情報のデジタル通信に関する 規格の登録商標です。

Kensington、MicrosaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。

ThunderboltはIntel Corporationの米国および/またはその他の国における商標です。

Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

AdobeはAdobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社)の米国およびその他の国における登録商標です。

Apple、macOS、Mac OS、OS X、Macintosh、ColorSyncはApple Inc.の登録商標です。

EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、CuratOR、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

ColorEdge Tablet Controller、ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configurator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、i・Sound、Quick Color Match、RadiLight、Re/Vue、Screen Administrator、Screen InStyle、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。

その他の各会社名、各製品名は、各社の登録商標または商標です。

ライセンス

この製品上で表示される文字には、リコーインダストリアルソリューションズ株式会社が制作したビットマップフォントを使用しています。

ENERGY STAR

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、この製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。



VCCI

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

また、製品の付属品(ケーブルを含む)や当社が指定する別売オプション品を使用しない場合、VCCIの技術基準に適合できない恐れがあります。

VCCI-B

その他規格

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格 を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあ ります。

この装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格JIS C 61000-3-2に適合しております。

アフターサービス

この製品のサポートに関してご不明な場合は、別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合 わせください。

保証書について

この製品の保証書はセットアップガイドにあります。必要事項をご記入の上、購入日が分かる書類 (レシートなど) とともに保管してください。

修理を依頼されるとき

保証期間中の場合

保証書の規定に従い、修理または交換をさせていただきます。

保証期間を過ぎている場合

修理範囲(サービス内容)、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前、ご連絡先の住所、電話番号 / FAX番号
- お買い上げ年月日、販売店名
- ・製品名、製造番号(製造番号は、本体の背面部のラベルに表示されている8桁の番号です。例:S/N 12345678)
- ・使用環境(コンピュータ / グラフィックスボード / OS、システムのバージョン / 表示解像度など)
- 故障または異常の内容(できるだけ詳細に)
- エラーコード(画面に表示された場合)

製品回収、リサイクルシステムについて

パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、 メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。当社は、使用済みモニターの 回収、リサイクル体制を構築しており、お客様がこの製品をご使用後に廃棄する際は次の要領でお引 き取りしています。なお、詳細な情報については、当社のWebサイトもあわせて参照してください。 (http://www.eizo.co.jp)

法人のお客様

この製品は、法人のお客様が使用後産業廃棄物として廃棄される場合、有償で一般社団法人「パソコ ン3R推進協会」がお引き取りいたします。当社のWebサイトよりお申し込みください。

(http://www.eizo.co.jp)

個人のお客様

・PCリサイクルマークの無償提供について

この製品は、PCリサイクル対象製品です。当社では、この製品をご購入いただいた個人のお客様にPCリサイ クルマークを無償でご提供しております。ご購入後すぐに、当社のWebサイトよりお申し込みください。 (http://www.eizo.co.jp)

マークは本体背面部のラベルの近くに貼り付けてください。

一般社団法人 パソコン3R 推進協会内 パソコンリサイクル受付センター

EIZO Webサイト: http://www.eizo.co.jp/support/recycle/personal/index.html

※「PCリサイクルマーク申込」からお入りください。

(回収担当窓口は、一般社団法人 パソコン3R 推進協会内 パソコンリサイクル受付センターにて対応 いたします。)

申し込みには、本体の背面部のラベル上に記載されている製品名と製造番号が必要となります。

・PCリサイクルマークについて



個人のお客様が、このマークが付いた当社製品の回収を一般社団法人 パソコン3R推進協会内 パソコンリサイクル受付センターにご依頼いただいた場合は、お客様に料金を負担いただくことなく回収、再資源化いたします。

・お問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、一般社団法人 パソコン3R推進協会内 パソコンリサイクル受付センターまでお願いいたします。

一般社団法人 パソコン3R 推進協会内 パソコンリサイクル受付センター

電話:044-540-0576

月曜日~金曜日(祝日および同センター指定の休日を除く)10:00~17:00

